

資金収支計算書(キャッシュフロー計算書)

1年間の現金の流れを示し、どのような活動に資金を必要としているかを表しています。

(単位:百万円)

	金額
業務活動収支(①)	4,756
業務支出	66,896
人件費支出	12,528
物件費等支出	15,351
支払利息支出	648
その他の業務費用支出	556
補助金等支出	29,330
社会保障給付支出	8,426
他会計への繰出支出	-
その他の移転費用支出	57
業務収入	74,168
税収等収入	46,303
国県等補助金収入	21,035
使用料及び手数料収入	3,656
その他の収入	3,174
臨時支出	17,769
臨時収入	15,253
投資活動収支(②)	△ 9,760
投資活動支出	16,578
公共施設等整備費支出	13,181
基金積立金支出	1,965
その他の支出	1,432
投資活動収入	6,818
国県等補助金収入	1,510
基金取崩収入	4,065
その他の収入	1,243
財務活動収支(③)	4,829
財務活動支出	6,317
地方債償還支出	6,199
その他の支出	119
財務活動収入	11,146
地方債発行収入	11,146
その他の収入	-
本年度資金収支額(A) = (①+②+③)	△ 176
前年度末資金残高(B)	8,262
本年度末資金残高(C) = (A+B)	8,086
前年度末歳計外現金残高(D)	567
本年度歳計外現金増減額(E)	△ 4
本年度末歳計外現金残高(F) = (D+E)	562
本年度末現金預金残高(C+F)	8,648

この計算書から分かる市の状況

資金の収支は1億7,600万円のマイナスとなり、令和2年度末の資金残高は80億8,600万円となりました。歳計外現金残高を加味した現金預金残高は86億4,800万円となります。

市民一人当たり資産額

資産合計／住民基本台帳人口

資産額を住民基本台帳人口で除して、資産が市民一人当たりいくらあるのかを表した指標です。

資産合計(百万円)	330,885
市民一人当たり(千円)	2,521

市民一人当たり負債額

負債合計／住民基本台帳人口

負債額を住民基本台帳人口で除して、負債が市民一人当たりいくらあるのかを表した指標です。

負債合計(百万円)	131,106
市民一人当たり(千円)	999

行政コスト計算書

1年間の行政に要した費用(コスト)のうち、福祉サービスやごみの収集にかかる経費など、資産形成につながらない行政サービスに要したコストを区分して表示するとともに、それらの行政サービスの対価としての使用料や手数料などの収入を表しています。

(単位:百万円)

	金額
経常費用(A)	77,699
業務費用	39,880
人件費	12,807
職員給与費	9,772
賞与等引当金繰入額	914
退職手当引当金繰入額	222
その他	1,900
物件費等	25,650
物件費	14,206
維持補修費	1,506
減価償却費	9,938
その他	-
その他の業務費用	1,423
支払利息	648
徴収不能引当金繰入額	194
その他	581
移転費用	37,819
補助金等	29,330
社会保障給付	8,426
他会計への繰出金	-
その他	63
経常収益(B)	7,234
使用料及び手数料	3,670
その他	3,564
純経常行政コスト(C) = (A-B)	70,466
臨時損失(D)	17,856
災害復旧事業費	53
資産除売却損	87
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	17,716
臨時利益(E)	21
資産売却益	15
その他	6
純行政コスト(C+D-E)	88,301

この計算書から分かる市の状況

純経常行政コストのうち、人件費などの経常費用は77億9,900万円で、受益者負担の使用料などの経常収益は72億3,400万円でした。臨時損失、臨時利益を加味した純行政コストは88億301万円となります。

市民一人当たり行政コスト

純行政コスト／住民基本台帳人口

純行政コストを住民基本台帳人口で除して、行政コストが市民一人当たりいくらかかるのかを表した指標です。

純行政コスト(百万円)	88,301
市民一人当たり(千円)	673

市民一人当たりの数値は全体ベースで算出しています。住民基本台帳人口は令和3年3月31日現在の人口131,263人を基にしています。

※くわしくは財政課(☎20-1512)へ。